

第4章探究活動の計画を立てよう

アンケートの作成

年 組 班 班員氏名

【アンケート作成の留意点】

- ①何を明らかにしたいのかを考えよう。
 - * アンケートは仮説の検証手段である。
 - * 質問項目は回答者にも集計者にも優しいものを。
できるだけ少なく、答えやすいもの、また集計・分析しやすい問い方にすること。
(質問例) ～を知っているか。(認知の度合い)
～したことがあるか。(経験の有無)
～しているか。(週刊の有無)
～だと思うか。(意見)
自由記述…仮説(自分の予想)とは異なる結果が得られる可能性がある。
分類を判断するのが難しい。
- ②どのような人(あるいはどのような地域)を対象に、何人のデータが必要かを考えよう。
 - * 必要なサンプルの量は、先行研究を参考にすること。
- ③言葉には注意しよう。
 - * 誤解のないよう、言葉の「定義」を伝えること。
 - * 相手を不快にしない言葉を遣うこと。
- ④調査名称や調査を行う団体名・連絡先、調査の目的や結果の利用範囲、個人情報の取り扱い、回答記入時の注意事項、回答者への謝辞等を入れよう。

(例) 仮説「スマホへの依存度が高いほど、安易に個人情報を渡してしまうのではないか」

(1) 先行研究を参考に、言葉を定義する。

- 「スマホへの依存度」をどのように定めるか。
- 「個人情報」をどのような情報に設定するか。

(2) アンケート対象と必要サンプル数を定める。

- 年代別に比較するか。
- 先行研究から特に個人情報の流出が多い年代に絞るか。
- 都市居住者のみにするか、郊外居住者、地方居住者も入れるか。
- 性別を調査対象とするか。など

(3) 質問項目と回答方法を考える。

- 個人で利用できるスマートフォンを持っていますか。→①はい ②いいえ
- 何歳ごろから個人のスマートフォンを持っていますか。→() 歳
- 一日何時間くらいスマートフォンを使用していますか。→() 時間
- スマートフォンはどのようなことに使用していますか。→記述式
- 個人情報(氏名、生年月日、住所、顔写真など個人が特定できるもの)を知らない相手に渡してしまったという経験がありますか。→①ある ②ない
- 磁気定期券には個人情報が登録してあることを知っていますか。
→①知っている ②知らない など

(4) 適切な質問や選択肢であるか、チェックしてみよう。

【チェック項目】

- ☐ 「言葉の定義」ができているか。
 - ☐ 「スマホへの依存度」をどう定義しているか。
 - ☐ 「個人情報」をどのようなものとして設定したか。
- ☐ 「言葉の定義」をする際に、先行研究を参考にしたか。
- ☐ 回答者を想定した質問になっているか。
- ☐ 回答しやすい質問になっているか。
- ☐ 集計しやすい質問になっているか。
- ☐ 選択肢に偏りはないか。

1、テーマを設定して、アンケートの質問と回答方法を考えてみよう。